

# ハクビシンによる 被害を防ぐために

現在、ハクビシンによる被害が増加傾向にあり、問題となっています。

## 特徴と生態

ハクビシンはジャコウネコ科に分類される動物で、主として東南アジアから中国南東部にかけて広く分布、日本にもほぼ全国的に生息していることが確認されています。

漢字では「白鼻芯」と表記され、その名の通り額から鼻にかけて白い線があることが特徴であり、名前の由来ともなっています。



- 全長は 90～120cm、体重は 2～3kg 程度
- 体色は暗灰褐色、顔面は黒色
- 四肢は比較的短く、細長い体型でイタチに似ている

ハクビシンは、電線を綱渡りしたり、壁や柱を垂直に登り降りすることができます。

基本的には夜行性であり、オスは昼間、野外の草むらなどに潜っていますが、メスは家屋や神社仏閣の屋根裏などに潜むことが多くあります。

雑食性で、果実や種子類、小動物、昆虫、鳥の卵などを食べます。繁殖については、年間を通して発情・出産をし、妊娠期間は約2ヶ月、1回の分娩で1～5頭を出産します。家屋の屋根裏では、断熱材を巣にすることがあり、そこで分娩することも多く見受けられます。

## 被害例

1. 屋根裏への侵入による夜間の騒音被害、侵入時に家屋の破壊も伴う事があります。
2. 糞尿による悪臭・衛生的被害や、天井に染みが出る・尿が垂れる・糞尿の重さで天井が抜けることがあります。
3. ハクビシンに寄生するダニやノミが持ち込まれる被害も多くあります。
4. 農作物への被害、一般家庭の庭先の果樹なども餌にします。
5. ペットなどへの殺傷被害、小型犬や猫、庭池の魚などに被害が出る例があります。

## 被害対策方法

1. ハクビシンは、庭木を伝わり屋根に上がることも多いので、建物に面した木の枝は払い、登れる状況を回避しましょう。  
(屋根からの侵入が比較的多く、穴を掘って侵入することはほとんどありません。)
2. 建物の周りを調べ、侵入する穴がないか調べましょう。  
ハクビシンは7～8cm角の隙間があればそのまま侵入可能で、隙間が小さい場合は周りを破壊し、穴を広げます。
3. 侵入口らしき穴を発見したら、金網等を使い、しっかりと塞ぎましょう。  
この際、頑丈に塞ぐことが非常に重要です。
4. 野生のハクビシンを呼び寄せないために、生ゴミやペットが食べ残したエサ、庭木の果実などは、そのまま放置しないようにして下さい。
5. 万一侵入されてしまった場合は、木酢液や強いミントの香りのするものを屋根裏に散布、追い出しを図ります。バルサン等の燻煙剤も効果的ですが、煙が上がるため、火事と間違われる恐れがありますので、近隣や消防署に連絡した上で行うようにして下さい。

---

---

### 特定非営利活動法人 ハクビシン被害対策協会

〒216-0001 神奈川県川崎市宮前区野川 2356-28 [TEL] 044-798-3103

[HP] <http://www.npo-hakubishin.com> [E-mail] [info@npo-hakubishin.com](mailto:info@npo-hakubishin.com)